



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 9 月 9 日

いわき市長 殿

提出者

住 所 福島県いわき市泉町下川字大劔399番地8

氏 名 ニチハ株式会社 いわき工場

竹内 剛志

電話番号 0246-56-1588

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2024 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ニチハ株式会社 いわき工場
事業場の所在地	福島県いわき市泉町下川字大劔399番地8
事業の種類	その他のセメント製品製造業【2129】
産業廃棄物処理計画における計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

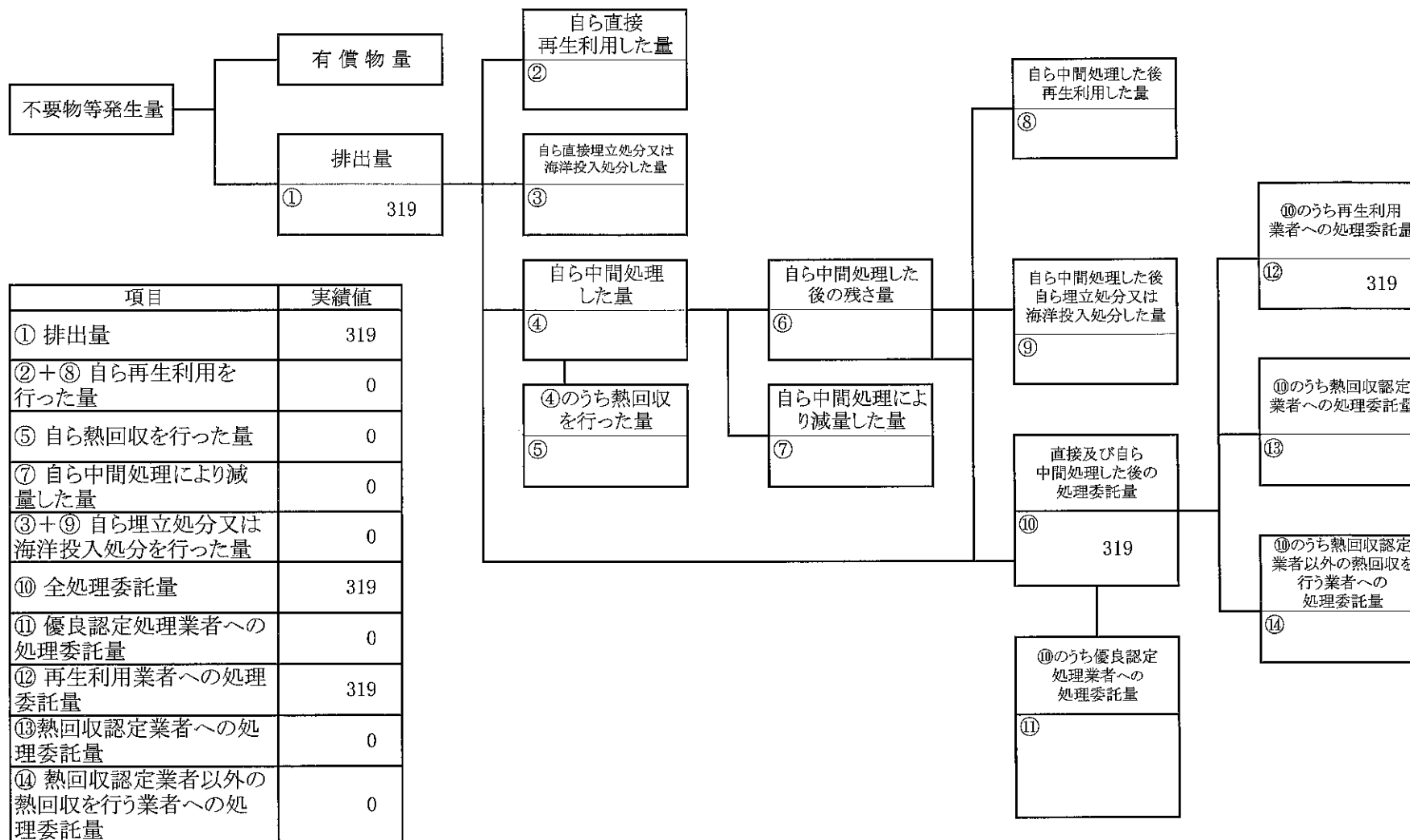
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5,168 t	全処理委託量	5,168 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

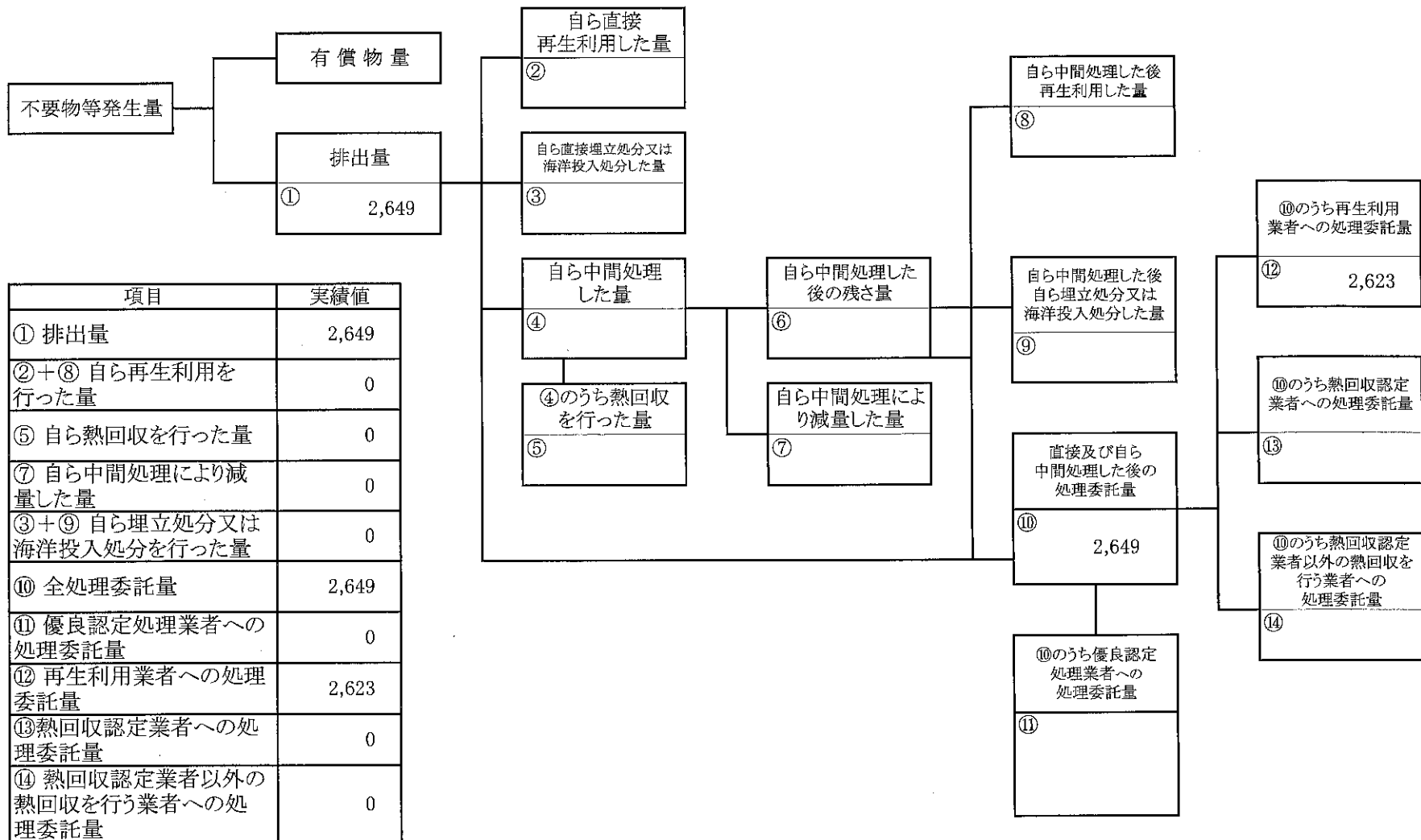
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥)



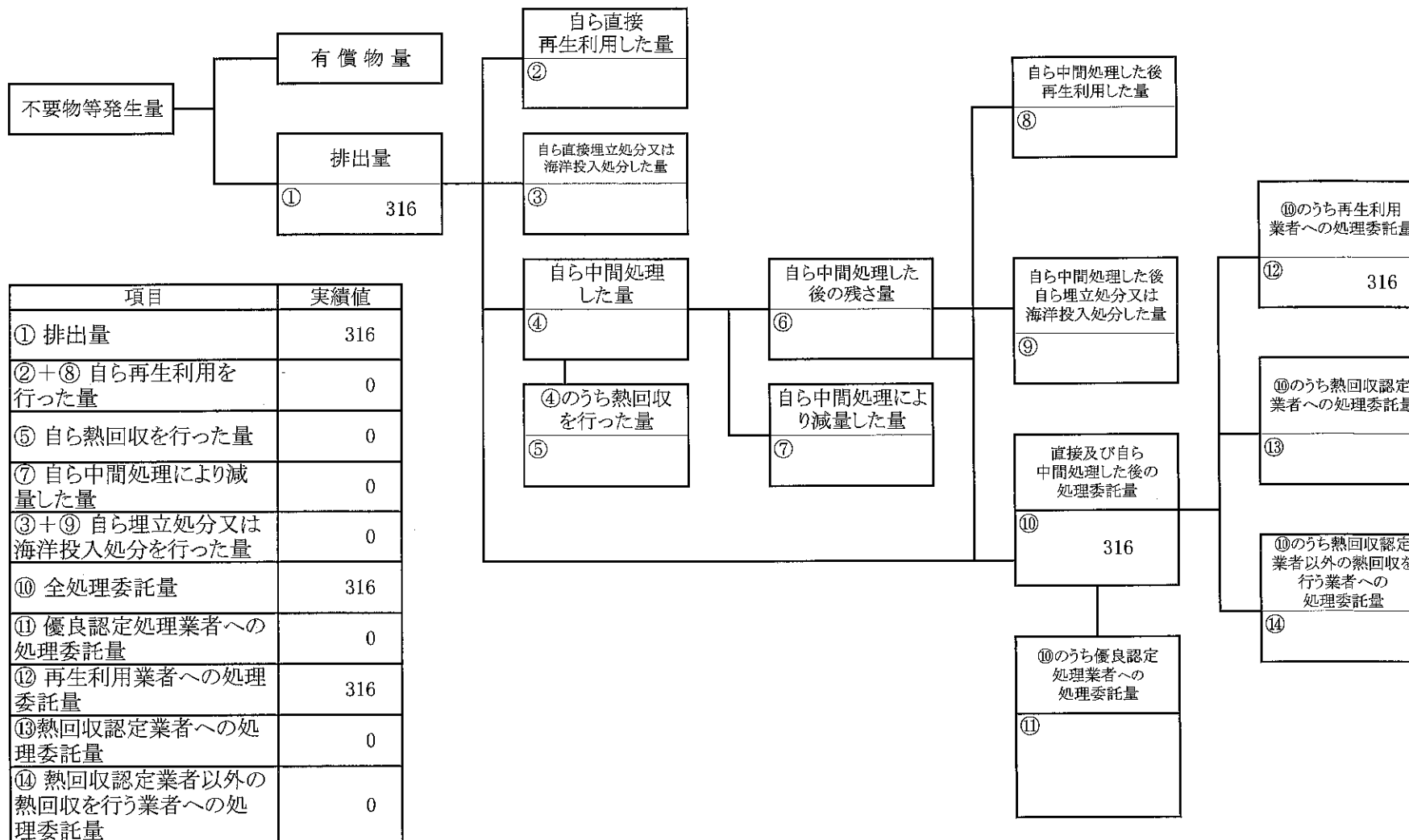
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラスくず及び陶磁器くず)



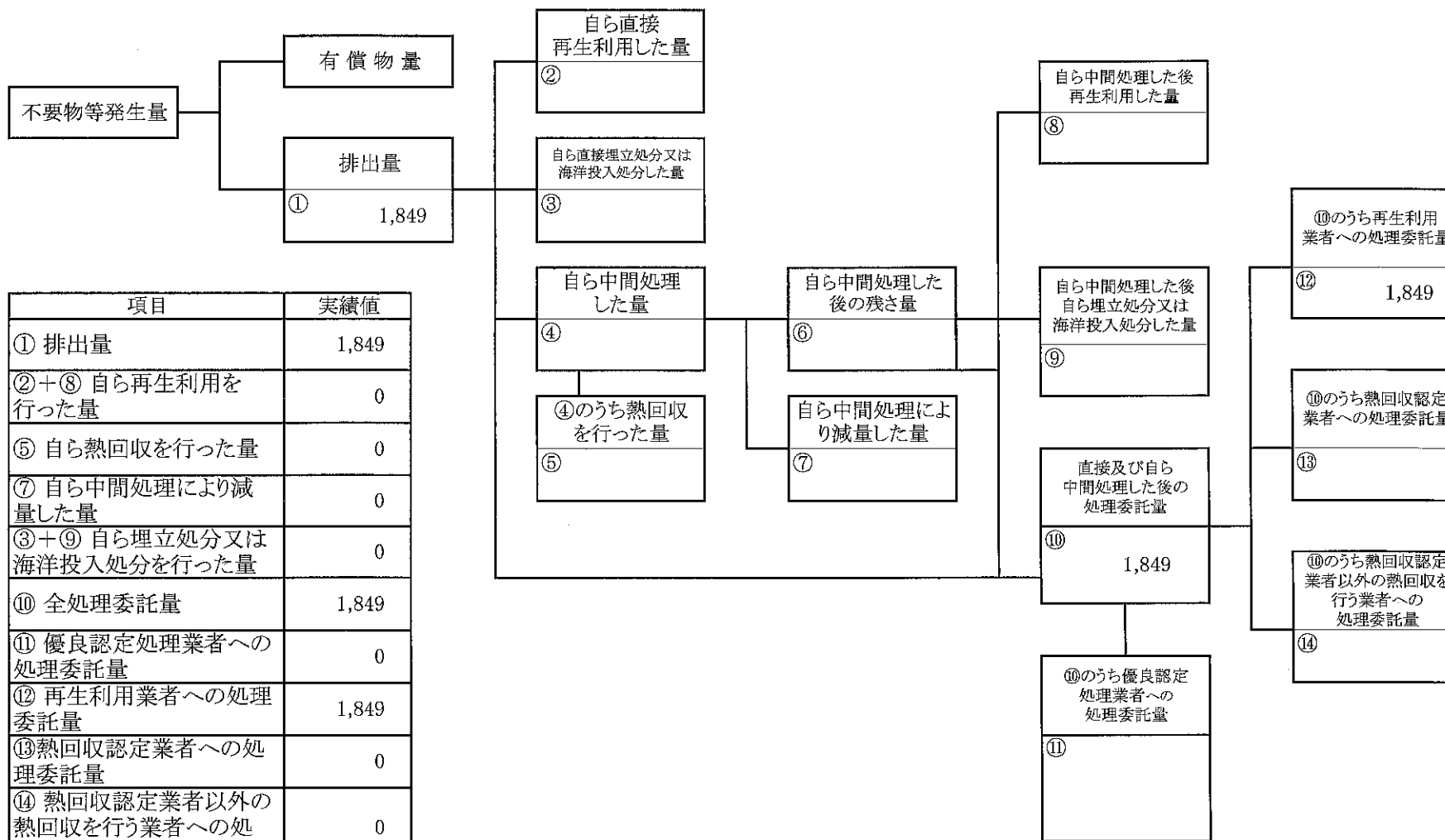
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラ類)



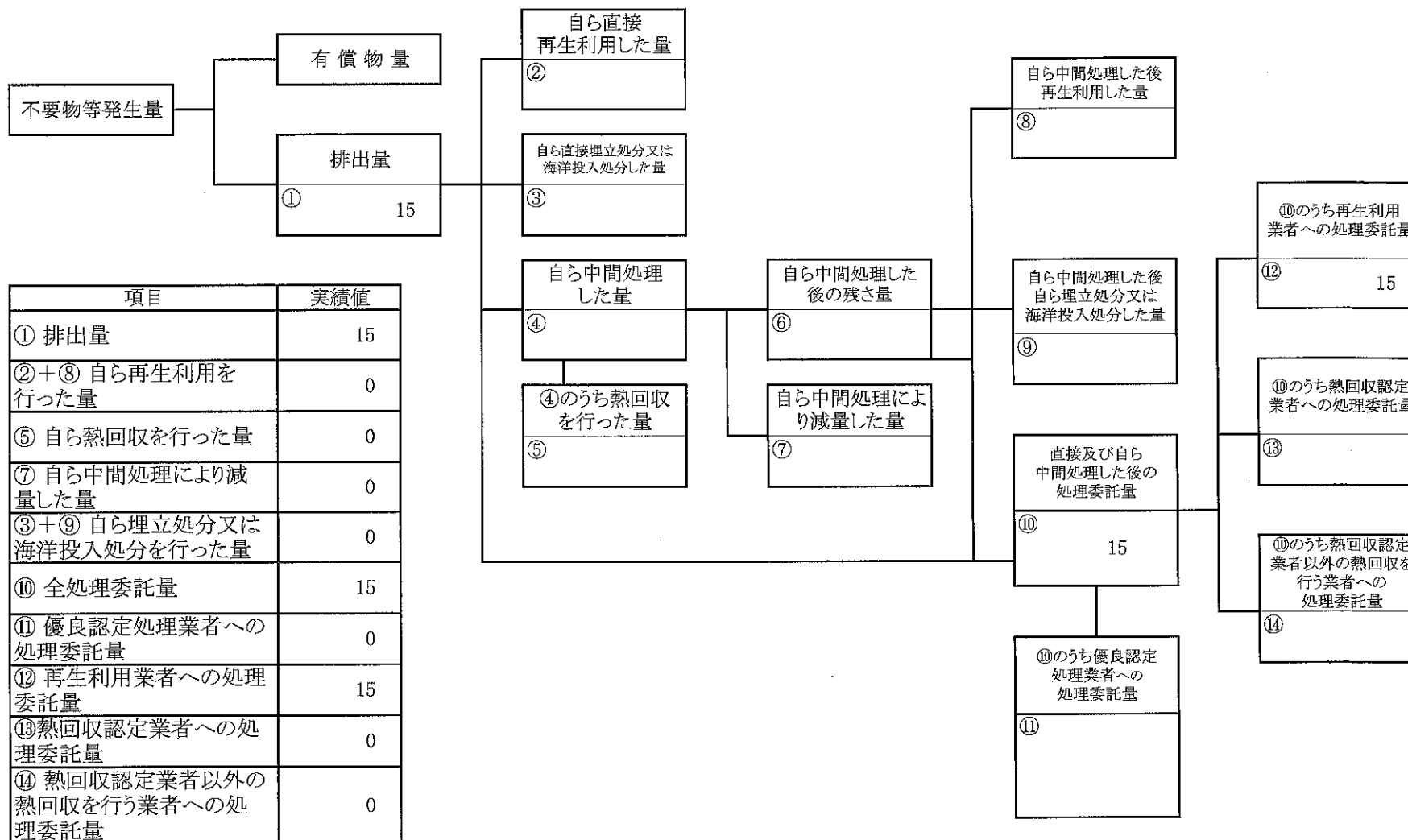
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃油)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

ニチハ株式会社 いわき工場

別紙

2024年度 産業廃棄物処理計画実施状況

ニチハ(株) いわき業務課

(昨年度実績(2024)の種別発生量から見た主な発生抑制と処理計画について)

2025年9月9日

種別	品目	2024年度		自社内発生抑制の主な内容	主な処理計画
		目標排出量(t/年)	処分別実績量(t/年)		
産廃	汚泥	386	委託中間処理量 319	・塗装回収効率改善を行い発生抑制を図る。	・塗着効率向上による発生抑制
		0	委託埋立処分量 0		
		386	計 319		
	ガラスくず及び 陶磁器くず	2,209	委託中間処理量 2,623	・自社内製造工程へ回収増とする運転で発生を抑制。	
		22	委託埋立処分量 26		
		2,231	計 2,649		
	廃プラ類	337	委託中間処理量 316	・発生抑制の啓蒙を図る。 ・分別の推進	・再利用方法を模索中(取引先含め)
		0	委託埋立処分量 0		
		337	計 316		
	木くず	2,190	委託中間処理量 1,849	・発生抑制の啓蒙を図る。	・再利用先での処分継続
		0	委託埋立処分量 0		
		2,190	計 1,849		
	廃油	24	委託中間処理量 15	・発生抑制の啓蒙を図る。	・再利用先での処分継続
		0	委託埋立処分量 0		
		24	計 15		
	産業廃棄物の合計 (t/年)	5,168	5,148		
	同 中間処理再利用量		5,122		
	同 中間処理による減量		0		
	同 埋立処分量		26		